

刊行にあたって

コンポジットレジン（以降、本増刊号ではCRと表記）修復は、接着システムの進化とCRの物性の向上により、う蝕治療にとどまらず、適用範囲を拡大し、日常歯科臨床において広く普及している。

CR修復の治療結果は患者の笑顔にダイレクトに結びつくため、歯科医療者としての働きがいや歯科医療の醍醐味を感じることも少なくない。一方で、テクニックセンシティブであることから、初学者、熟練者にかかわらず、一つ一つの術式に確信がもてなかったり、思ったような仕上がりが得られなかったりすることもあるのではなからうか。限られたチェアタイムで実践されるCR修復。その成功の裏側には、基礎的・臨床的にさまざまな重要ポイントが存在し、また、日進月歩のマテリアルとともにアップデートが欠かせない。

本増刊号は、臨床現場を想定し、CR修復を成功に導くためのポイントを厳選。最新情報へのアップデート、ワンランク上のテクニックや勘どころをまとめた1冊を目指した。国内外でご活躍の臨床家、新進気鋭の研究者に、多くの臨床写真とともにカッティングエッジな内容を惜しみなく、かつ端的にわかりやすくご執筆いただいた。菅原佳広先生、田代浩史先生には編集委員として加わっていただき、執筆のみならず編集にもご協力いただいた。

本増刊号は30のポイントから成り立っており、内容は違えど、執筆者それぞれのCR修復に対するフィロソフィーが浮かび上がってくるように感じる。無論それらは同じであるはずがなく、さまざまな気づきを得られる。そのような気づきのなかから生まれる新しい視点が、次世代のCR修復へと繋がっていくことと思う。それが多くの執筆者によって完成した本書のもう一つの価値であるのかもしれない。

最後に、最新の知見を含めたタイムリーな内容に書き上げてくださった執筆者、手に取ってくださった読者の皆様に御礼申し上げるとともに、“超”レベルアップしたCR修復によって、一人でも多くの患者が救われることを期待して、序言とさせていただきます。

2022年3月

編集委員代表 保坂啓一